

朝晩、吹く風に冷たさを感じ、一段と日が暮れるのが早くなりました。日中の日差しがより温かく感じられます。

さて、2学期も残すところ2か月足らずとなりました。今月は、持久走記録会（11/7）、学習参観日（11/17）、社会科見学（11/22）の行事があります。また、学年で音楽交流会（11/14）や長縄8の字跳び交流会（11/24）を計画しています。子供たちが様々なことに興味をもって主体的に学習したり、活動したりできるように企画をしています。子供たちの取り組みについて、ご家庭で尋ねてみてください。

◇◇社会科見学◇◇

11月22日(水)に社会科見学に行きます。子撫川ダム、和田川水道管理所子撫川支所、二上浄化センターを見学します。社会科や総合的な学習の時間に学習している「水のはたらき」について実際に見て学習します。当日は、お弁当の用意をお願いします。



◇◇読書の秋◇◇

読書の秋です。4年生は、年間50冊を図書室で借りることを目指しています。読書量が多い子供は読解力が高いというベネッセの研究結果が出ています。かつて日本はPISA（OECD生徒の学習到達度調査）の読解力調査で2012年に世界1位でした。しかし、2015年には6位、2018年には、11位と順位が落ちています。読解力が伸びている国と日本の違いは何なのか、国立教育政策研究所で研究が進められています。それによると、日本では1か月に5冊以上読んでも読解力の向上につながっていないという結果が出ています。しかし、PISAの調査で読解力上位のフィンランドでは、読めば読むほど読解力が伸びているそうです。国立教育政策研究所によれば、読んだ本の内容をアウトプットする活動に秘密があるとのこと。フィンランドでは読んだ本の内容を周りの人に伝えることを目的に読書活動を進めているそうです。この話を聞いて、学校での読書について見直しが必要だと考えました。読書の時間を増やすだけでなく、読んだ本の感想文や紹介文など書いたり、友達やおうちの人に伝えたりするといった活動を取り入れていこうと思いました。ご家庭でも、どんな本を読んで、何が楽しかったのか聞いてみてください。そうすることで読解力が向上していくのではないのでしょうか。

